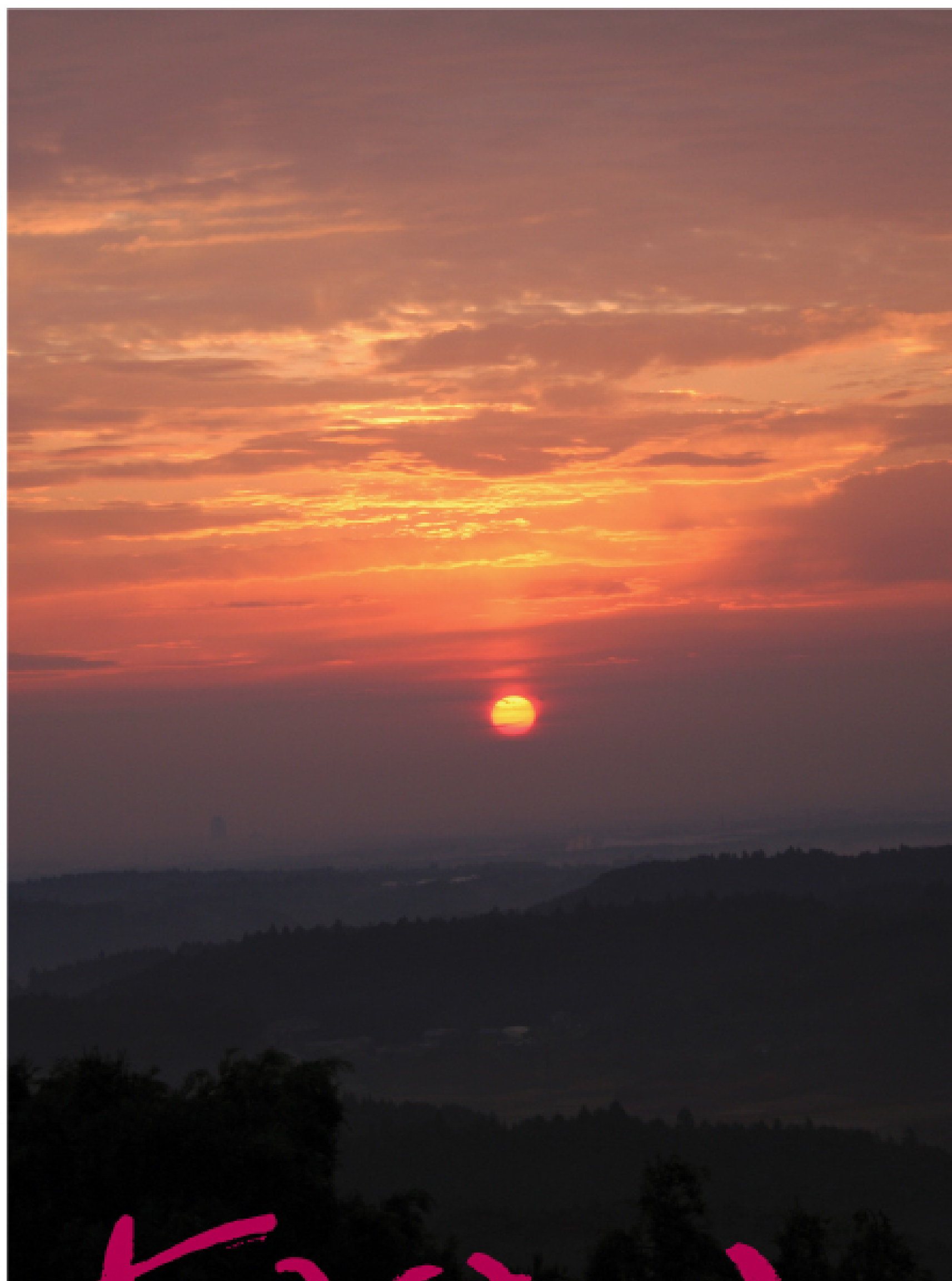


笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2006冬号 VOL.005



Kasama

笠間再発見！

自然の神秘に触れる

朝日 & 夕日スポット

メイド・イン・笠間で行こう！／観光客に聞いたおすすめショップ／FAN FAN KASAMA ほか

笠間昔話

笠間の宝、芸妓さん

冬のイベント情報

かさま除夜の鐘、節分祭、美術館情報 ほか

笠間ファン倶楽部 始動

キックオフイベント盛大に

笠間の宝、芸妓さん(昭和12年)

昔話 笠間



昭和12年(1937年)

今から68年前の日本は軍国主義に走っていました。8年に及ぶ日中全面戦争の発端となる盧溝橋事件が起き、広島の呉では戦艦「大和」の建造が秘密裏に始まりました。一方、西安では15万人規模の抗日デモが行われました。軍拡による石油需要の増大で、電気バスが大阪で登場。ヘレン・ケラーが来日。アメリカで飛行船「ピンデンプルグ号」が爆発炎上。

サントリーウイスキー角瓶発売。資生堂で化粧水発売。「ローション」ということが初めて使われ、和光堂からは嚙乳食の缶詰が発売されました。
流行語「馬鹿は死ななきやなおらない」

【その頃笠間では…】

昭和5年 活動写真館「昭和館」ができる。
昭和8年 木村武山、大日堂の建立はじめる。
昭和13年 笠間町の町章(現市章)決まる。

笠間は花街としての顔もあります。写真は昭和12年頃の門前通りにあった笠間館という旅館で、芸妓さんが集まって踊りの稽古をしているところです。きれいな人がたくさんいます。笠間では大正元年に芸妓組合ができました。その頃か



↑踊りの稽古をする芸妓さん。最盛期には100人ほどの芸妓さんがいたそうです。門前通りの「笠間館」にて。
(写真提供/松岡禮子)

←現在の芸妓さん。笠間稲荷神社で行われた「きものふあっしょん抄」にて。
(写真提供/山中写真館)

らどんどん発展して、昭和60年頃には置屋も40軒、100人の芸妓さんがいて街に花を添えていました。時代とともに少しずつ数は減りましたが今でも12軒、30人程の芸妓さんがいます。

もう一枚の写真は笠間稲荷神社で行われた「きものふあっしょん抄」の時の現在の芸妓さんたちです。観光協会の設立50周年式典で、長年の功績をたたえ表彰された松廼家の松岡禮子(あやこ)さんは「笠

間は美しい四季に恵まれて、ゆっくりできる所です。きれいな芸妓が待ってますからぜひお越し下さい」と言っていました。笠間には喜楽町という町があって、そこでは今でもよく着物姿の芸妓さんが歩いています。風情があっていいものですよ。何でも時代と共に変わってゆくものですが、変わらずに続いている芸妓さんは笠間の宝です。ずっと絶やさずに、大切に守ってゆきたいものです。

冬のイベント情報

笠間の冬のイベント情報です。寒さに負けずに大いに楽しみましょう。

茨城県陶芸美術館

「日本のわざと美」11/19(土)～12/21(水)
「ワークショップ『型染』に挑戦！」
12/17(土)10:00～12:00 13:30～15:30
「茨城県立笠間高等学校 工芸・デザインコース
卒業作品展」1/2(月)～1/12(水)
「日本陶芸100年の精華」1/21(土)～3/21(火)
問／tel 0296-70-0011
www.edu.pref.ibaraki.jp/tougei



ここで除夜の鐘を打ちます。
参加人数の限定なし。ぜひご参加ください！



第5回 かさま除夜の鐘

12/31(土)23:30～元旦1:00
場／佐白山麓公園内 時鐘楼
問／笠間市観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama
除夜の鐘とは、おおみそかの夜に百八の煩惱を除去する意味で行われる行事。佐白山麓公園内の時鐘楼で行われる「かさま除夜の鐘」は、参加人数の限定なく、1人2回鐘を打つ事が出来ます。また餅汁等のサービスもあるのでぜひ参加ください。

初詣

場／笠間稲荷神社、常陸国出雲大社など
初詣にともない笠間稲荷神社周辺道路では下記の時間交通が規制され、歩行者専用道路となります。
平成17年12月31日 23:00～平成18年1月1日 3:00
平成18年1月1日 10:00～16:00
平成18年1月2・3日 11:00～15:00
門前通り(常陸銀行角～コーエーデンキ角の約500m区間)
問／笠間市観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

彩初窯市

1/2(月)～1/5(木)
場／笠間工芸の丘
問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp/



笠間焼初窯展2006

1/11(水)～1/15(日) 10:00～18:00
場／常陸藝文センター4Fアリーナ
問／笠間工芸の丘 tel 0296-70-1313

笠間日動美術館

「富士山展(仮題)」
12月下旬～3月下旬
問／tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

笠間工芸の丘

「彩初窯市企画展」1/2(月)～1/22(日)
「第2回人にやさしい器展」1/2(月)～1/22(日)
「桃宴」1/26(木)～3/5(日)
「第4回 伊を囲む3人展・木・陶・鉄による茶室への誘い」
2/1(水)～2/26(日)
「おくりもの展」3/1(水)～3/12(日)
「笠間焼新作展-伝統を今に-」3/8(水)～3/26(日)
「南部漸 陶芸展」3/15(水)～3/26(日)
問／tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp



節分祭

2/3(金)
場／笠間稲荷神社、常陸国出雲大社、佐白観世音寺、鳳台院など
節分とは立春の前日に悪疫退散、除災、招福の意味で行われる神事。今年も市内各神社仏閣で節分祭が催されます。
問／笠間市観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

陶のオルゴール展

12/3(土)～12/25(日)
場／陶の小径
問／陶の小径商店会 tel 0296-72-6865(山崎)
<http://www.age.to/~komichi/>

陶の小径 X'mass コンサート

12/17(土) 14:00～
場／陶の小径 東風舎
問／陶の小径商店会 tel 0296-72-6865(山崎)
<http://www.age.to/~komichi/>

オカリーナ・第九コンサート

12/24(土) 13:00～
場／笠間市中央公民館
問／オカリーナで第九を吹く会実行委員会
tel 0296-72-2100

笠間クラインガルテン感謝祭

12/24(土)～12/25(日) 9:00～16:00
場／笠間クラインガルテン直売所
問／笠間クラインガルテン tel 0296-70-3011

笠間市観光協会から 社団法人笠間観光協会へ

去る9月29日に社団法人化に向けた設立総会が開催され、この度当機関紙の発行元である笠間市観光協会は、「社団法人笠間観光協会」へと名称を変え新たなスタートを切ります。

今後、観光都市笠間の実現に向け、組織体制の充実を図りつつ新たな事業の展開をしてまいります。笠間ファン倶楽部会員の皆様をはじめ来笠者や市民が、笠間へ「訪れてよかった」また「住んでいてよかった」と感じていただけるような観光地づくりをめざしてまいりますので、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

お知らせ

ファン倶楽部の皆様へ 企画・アイデア・ボランティア 募集しています！

笠間ファン倶楽部では、皆さんの声をお待ちしております。「笠間を応援するために自分がこんなことをしたい」とか「こういうふうにしたら良い倶楽部になるんじゃないかな」とか「こんなことをやってほしい」等々ご意見があれば、遠慮なくファン倶楽部事務局までご連絡ください。この笠間ファン倶楽部は私たちと皆さんの手で作っていきたいと思っておりますのでご協力ください。

シリーズ

VOL.05

笠間再発見！

自然の神秘に触れる

朝日&夕日スポット

地球が誕生した遙か昔から、夜明けは繰り返されてきました。夜から朝へ、あるいは夕方から夜へ…移り変わるひと時はとても神秘的。そんな瞬間を迎えるにふさわしい、とっておきのスポットを紹介しましょう。

おすすめスポット01

佐白山／石倉（笠間市）

アクセス／クルマは千人堀り駐車場へ。山頂までは徒歩で20分程度です。

撮影場所／石倉（笠間市）

おすすめスポット02

愛宕山（岩間町）

アクセス／愛宕山の山頂付近が“あたご天狗の森”として整備されています。駐車場完備。

おすすめスポット02

愛宕山（岩間町）

夜明けから間もない、あたご天狗の森駐車場より撮影。朝もやが幻想的です。

夜明けから間もない、あたご天狗の森駐車場より撮影。朝もやが幻想的です。

10/10 設立総会

時快なトークで盛り上げてくれた華道家の假屋崎省吾さん。

10/9 前夜祭

田舎料理のバイキング。

10/30 笠間クラインガルテン

りんご狩&秋食会を開催

10/30 笠間クラインガルテン

りんご狩&秋食会を開催

10/10 設立総会

時快なトークで盛り上げてくれた華道家の假屋崎省吾さん。

10/9 前夜祭

田舎料理のバイキング。

10/30 笠間クラインガルテン

りんご狩&秋食会を開催

10/30 笠間クラインガルテン

りんご狩&秋食会を開催

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！

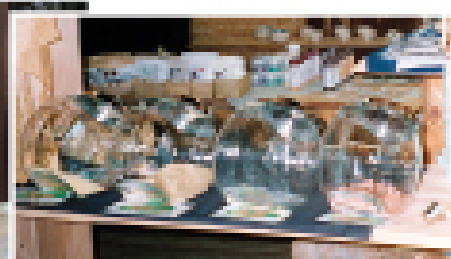
笠間には人知れず、こだわって、いいものを作っている人たちがたくさんいます。そんな人たちを応援する意味を込めて、このコーナーを始めました。これを読んで気に入ってくれたなら、ぜひ自分の足で訪ねてみてください。きっと素晴らしい出会いが、あなたを待っていることでしょう。

その3／胡麻や



レトロな店構えに
タイムスリップしそうです。

“ひょうたんからごま”
500円。



SHOP DATA

住／茨城県笠間市（笠間稲荷神社より武蔵酒蔵跡内）
TEL／0298-74-2028（只今ホームページ作成中）
営／10:30～14:30（土・日・祭日オープン）
※ 金曜、日曜は野菜市あり

「どんなに経済効率は悪くても、国産ゴマを消したくないからやりますよ」

店主の斎藤典保さんに話を聞きました。斎藤さんは大学院で植物の遺伝学を専攻。その研究室がゴマ研究の第一人者、故・小林貞作先生の所でした。小林先生に直接指導を受けた最後の直弟子になるそうです。卒業後は井関農材業に就職して研究所にいましたが、就農の夢があり1991年に脱サラ。有機農業と一緒に勉強した仲間の縁で笠間に来て15年になります。

斎藤さんは市内で完全無農薬、有機肥料による野菜栽培に取り組み、契約消費者にその野菜を宅配しています。2001年の12月に小林先生が急逝されてからは、ゴマの

品種が絶える事を危惧し、国産ゴマを守るため本格的な栽培を始めました。一口にゴマと言っても世界に3000品種、日本にも1000品種もあるそうです。

その日本在来のゴマを販売しているお店がここ「胡麻や」です。ゴマ作りはとても手間が掛かります。そのひと粒ひと粒には斎藤さんの魂、情熱が込められています。

「伝えたいのは食育。それはどんなソースをかけて食べるかということじゃありません。食べるという事の原点は耕して作る。農家にまではなれないにしても常に作る側に向かうようになってほしい。例え

ば大根が一本あったなら、葉っぱの先までどれだけ残さずに食べるかということです」

「ゴマは抗酸化食品で体にいいし、何よりおいしい。どんなに経済効率は悪くても、国産ゴマを消したくないからやりますよ」などと熱く語ってくれた斎藤さん。今後は笠間焼とゴマをコラボレートしたイベントも計画中とか。笠間については「都会からこれだけ人が来てるのに、その人たちの声・要望を吸い上げる機関、システムが無い。ファン倶楽部にはそこを期待したい」と話してくれました。ぜひ皆さんもお店に行ってみてください。元気になれますよ！

観光客が選ぶおすすめショップ



向山窯 笠間焼プラザ店

住／茨城県笠間市笠間2290-4
電／0296-72-0194
営／9:30～17:30（喫茶キルンは10:00～16:00）
www.kasamayaki.co.jp/_private/kzplz2.htm

器

豊富に揃う笠間焼や
各種民芸品が多数。

←店内がリニューアルしていました。可愛いものから本格的なものまで笠間焼がいっぱい。見ているだけでワクワクします。ほかに木工や織物など各種民芸品も揃っているので、まとめてお土産を買いたい時に便利。

→日本庭園に面した情緒たっぷりの数寄屋風の建物が自慢。気くぱりと家庭的な雰囲気がある。食事は素材にこだわる料亭料理。24時間入れる庭園風呂もうれしいサービスです。

宿

数寄屋風建築が自慢、
気くぱりがうれしい宿。



割烹旅館 城山

住／茨城県笠間市笠間14-1
電／0296-72-0861
宿／12,600円～（1泊2食付き）
www.h5.dion.ne.jp/~siroyama/



右側に並んでいるのが離れの部屋。

笠間好き集まれ！／ファン！ファン！カサマ

FAN FAN KASAMA



ふるさと案内人／武田 章(たけだあきら)さん

昭和22年、笠間生まれの59才。現在は水戸ステーション開発(株)の社員として土浦駅ビルWINGに勤務中。趣味は絵画、ひょうたん作り、写真など。第8回笠間観光フォトコンテストで入選。妻と息子の3人暮らし。

ふれあいを求める人たちに、心と心の会話を心がけてます。

●埼玉の川越市を訪れた時、商店街をただ歩いているだけなのにごく普通に「ようこそ川越へ」と何人もから声をかけられました。もてなす心が伝わってきて、とても良い印象を受けました。笠間が好きで案内人発足以来から4年半活動中。その中で感じるのは、お客さんは地元の人との出会い、ふれあいを求めているという事です。通り一遍の観光案内よりも心と心の会話を心がけています。地元の一人一人が、笠間人である誇りを持ち「ようこそ笠間へ」と言えるようになって欲しいと思っています。

●笠間芸術の森公園はすばらしいスポットです。もっと有効活用してほしいです。今、おもしろいと思うのは落語。空店舗を利用

して小さな寄席場を3ヶ所ぐらい作って、発表の場を求めている若い芸人さんに出してもらう。そしてお客さんには寄席場の間を回遊してもらう。そうすると通りが楽しいまちになると思います。

声 ファンファンボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

- 笠間ファン倶楽部通信読みました。印象に残ったのは昔の笠間駅の写真です。今の駅前と比べたら…もう少し門前町らしくしてほしいです。(茨城県・男性)
- 今年からクラインガルデンで野菜作りを始めました。笠間は歴史・文化・自然そして陶芸とあらゆる世代の人をひきつける魅力を持ったところですよ。来春3市町が合併するそうですが、それぞれの良さをどのように融合し新しい笠間市になるか関心があります。さらに多くの人に訪れてもらえるよう宣伝したいと思います。(千葉県・男性)
- 笠間は「陶」「石」「農」(木工も入れて)の三つの芸術で更に活力UPしましょう。農の食べ物も好きです。年会費を500～1000円としては!!(茨城県・男性)
- 芸術・文化に満ち溢れたハイソな街『笠間』。今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。(東京都・男性)
- 船荷神社の通りで駐車場へ呼び込む人達の多いのが気になります。歴史ある街なのに風情をそがれた気が…(千葉県・男性)

※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

笠間にこの人あり。変幻自在の笠間人がCDデビュー！

●私が初めてしんやさんの存在を知ったのは今から24年前、西萩窪のほびっと村で村長をしていた頃だった。彼が笠間に引越して来たのは52才の時だ。人前で歌を始め、いつの間にやらバンドもでき、最近はいっしょにミュージシャンをしている。この度、アイデコBANDとしてCDデビューする。CDは全8曲で、ボーカルはもちろんSHINYA氏。いきなりのアイデコ・ベストアルバムだ。また、時々発行している個人ニュースレター「モグラ・エキスプレス」など、ユニークなメッセージ文体の文筆活動にも注目。なにせ御年69才にして、今が旬の人です。今後の活躍に期待すると共に我が街、笠間をもっとにぎわせてくれる事を願います。私も頑張ります。(T.O)



ファンファンピープル



アイデコしんや こと 川内信也さん

1938年 青森市生まれ。青森高校の同期に寺山修司、沢田敏一がいた。1960年 武蔵野美術学校西洋画科卒。1978～1989年 東京杉並区西萩窪ほびっと村村長。1989年 笠間へ移住。超晩熟型マルチアーティスト。



天ぷら御膳1,600円。とろるも付きます。

むぎとろ 量深

住／茨城県笠間市新町1253-3
電／0296-72-9333 休／月曜日(祭日は営業)
営／11:30～14:00 17:30～21:00 ※12/24～1月中旬は休業
www.6.plala.or.jp/RYOUSHIN/



食

素材にこだわる料理、
麦とろめしが絶品。

←素材にこだわった料理が楽しめます。中でも地元契約農家から直接仕入れる山いもを使った麦とろめしは絶品。出汁とのハーモニーが素晴らしい、ふんわり軽いので何杯でも食べられそうです。

→予約でいっぱいになってしまうことも多い人気店です。メニューは釜めし、お弁当から本格懐石料理まで幅広く用意されています。店内は作家ものの灯りや油絵が飾られ、落ち着いた雰囲気。ゆっくりと食事を楽しめます。

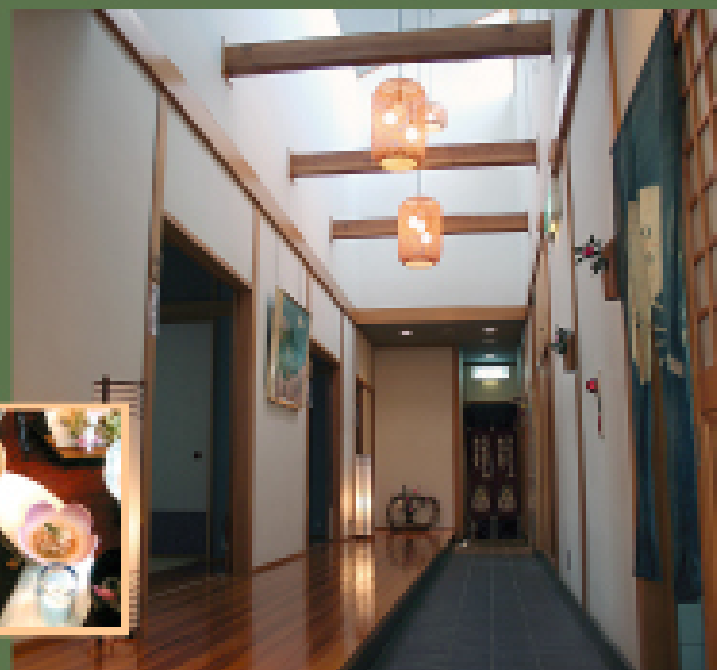
食

居酒屋メニューから
懐石料理までOKです。



味の店 はらだ

住／茨城県笠間市笠間2698-6
電／0296-72-1035 休／水曜日、12/31、1/1
営／11:30～14:00 17:00～21:00
www.e-kasama.jp/harada/



店内には竹のあかり(作・近藤昭作)や、油絵(作・藤田忠夫)などが飾られています。

笠間焼産地研究事始の記

熊坂 敏彦 (大和生命保険㈱) マーケティング事業部長 産業学会会員



私と笠間焼との出会いは、子供時代(1950年代)に遡ります。その当時、福島郊外の私の家には、まだ水道がなく笠間焼の大きな「水がめ」があり、大家族で使える大きな「柿軸播鉢」や「柿軸黒流掛巻」があり、縁側には「ひよこ飼育用の不思議な鳥水呑」もありました。そして昨年より私は、ライフワークとして、やきもの産地産地の研究に着手し、その第一歩として笠間焼産地を研究しております。

私がやきものに興味を持つようになったのは、銀行勤務時代、4年間名古屋で暮らした時に、瀬戸、赤津、美濃、常滑、伊賀、信楽等、中部地区に散在するやきもの産地を訪ね、作品を鑑賞する機会に恵まれたことからでした。その後、東京に戻って、銀行

内に陶芸クラブを創設し、4年間ほど中野にある陶芸教室に通い、「週一陶芸家」となりました。しかし、私にはその道の才能がなかったので陶芸作家になる夢は諦めました。ところが、メンバーの1人、渡部佳文君が陶芸家を志し、銀行をやめて2000年に茨城県窯業指導所で終了し、笠間で作家として活躍するに至りました。こうした様々な縁があり、さらに、長友・渡部君より、窯業指導所、笠間市役所、笠間焼協同組合等の関係者、作家の方々を紹介していただき、私の研究活動が始まりました。

私の笠間焼産地研究は緒についたばかりですが、現時点で気付いた点をいくつかあげておきたいと思います。①笠間焼産地は、全国のやきもの産地の中でこの長期不況下でも元気な産地に入ること、②その最大の要因は、戦後、窯業指導所を中心に進められた「産地革新」により製品転換などが図られ、伝統的産地から脱却したこと、③その後、「作家中心の芸術文化産地」に進化

しつつあること、④笠間焼産地は、観光と結びつきながら地域振興に貢献しているが、最近、作家を中心とした様々なイベントやまつりを契機とする地域・コミュニティ創造活動を通じて地域振興に貢献しつつあること等です。

また、笠間の魅力が、作家をひきつけて産地を発展させ、観光客をひきつけて地域経済を発展させていると思われます。笠間には極めて多様で個性的な作家がおり、その工房があり、美術館があり、美しい山並みと田園風景があり、笠間稲荷をはじめとした歴史的遺産があり、美味しいそばや地酒、四季折々のイベント・まつり等もあり、さらに、おもてなしの心に溢れた地域の人々がおります。訪ねるたびに新鮮な発見がある笠間。私は、「笠間ファン倶楽部会員」として、「笠間ふるさと案内人」代理役として、微力ながら笠間の外で「笠間の輪」を広げべく笠間を応援して行きたいと決意しております。(文・熊坂敏彦)

会員募集

とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。笠間市民の方も加入できます。

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多く笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、是非皆さんお申し込み下さい。

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込み下さい。

会員特典/レンタルサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数!

- 1 笠間を好きな人。
- 2 笠間を応援したい人。
- 3 笠間をふるさとにしたい人。
- 4 笠間人(かさまびと)と交流したい人。
- 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。

笠間市産業建設部商工観光課

〒309-1698 茨城県笠間市石井717
TEL 0296-72-1111 FAX 0296-72-9591
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間ファン倶楽部 募集 笠間PR協力店

「笠間ファン倶楽部」では、笠間市の住民の方々と、笠間市以外に暮らしていらっしゃる方々との心温まる「ふるさと交流の場づくり」を目指しています。

そこで「笠間ファン倶楽部通信」をはじめとしたパンフレットやポスター等をお店のスペースに設置していただき、笠間のPRにご協力いただけるお店を募集いたします。ご協力いただいた各店様には定期的に笠間の情報を提供させていただきます。

皆様の積極的なご入会登録をお待ちしています。



お申し込み先/笠間市産業建設部商工観光課
tel 0296-72-1111 fax 0296-72-9591
kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp
※FAX、はがき、メールのいずれでも申し込み出来ます。

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から
上野→(JR常磐線70分)→友部→(JR水戸線10分)→笠間
東北方面から
小山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線50分)→笠間

高速バスからのアクセス

東京方面から(1日4往復)
東京駅八重洲南口(日本橋口着)→(常磐自動車道ほか105分)→笠間駅前ほか

車からのアクセス

東京方面から
三郷→(常磐自動車道→北関東自動車道50分)→友部IC→(国道355号線5分)→笠間



笠間市なるほどデータ/在住外国人ベスト5
①フィリピン人 ②韓国人 ③中国人 ④タイ人 ⑤ブラジル人
※データは国別別の外国人登録者数のベスト5です。

笠間市基本データ/人口29,673人/面積131.61km²
位置 東経140度14分 北緯36度22分/標高62.69m